全国500歳野球大会・全県500歳・550歳野球大会の相違点並びに規則改正事項（令和元年度）

大会別	全国500歳野球大会	全県500歳野球大会	全県550歳野球大会
1　出場資格	原則50歳以上 （基準日においては49歳の場合もある）	全国500歳大会と同様	昭和38年4月1日以前に生まれた方
2　登録者数	監督等を含め、30名以内	全国500歳大会と同様	監督等を含め、25名以内。その他、世話人5名以内
3　試合イニング数 ・時間規制	7イニング制、1時間50分を超えて新しいイニングに入らない。（決勝戦は時間制限を除く。）	5イニング制、1時間30分を超えて新しいイニングに入らない	全県500歳野球と同様
4 コールドゲーム	5回以降10点差で適用 （決勝戦は適用しない。）	適用無し	適用無し
5 特別延長規則	同点の場合はタイ・ブレークを適用。 ※一死満塁、打順は任意とし、走者は選択した打者の逆順とする。（決勝戦も適用する。）	同点の場合はジャンケン。大会3日目以降はタイ・ブレークを適用。 ※一死満塁、打順は任意とし、走者は選択した打者の逆順とする。（決勝戦も適用する。）	同点の場合はジャンケン。大会2日目以降はタイ・ブレークを適用。 ※一死満塁、打順は任意とし、走者は選択した打者の逆順とする。（決勝戦も適用する。）
6　投手の年齢制限	55歳までの投手はアウト12まで。56歳以上の投手は制限なし。延長戦・特別ルールの際には制限を適用しない	55歳までの投手はアウト9まで。56歳以上の投手は制限なし。延長戦・特別ルールの際には制限を適用しない	59歳までの投手はアウト9まで。60歳以上の投手は制限なし。延長戦・特別ルールの際には制限を適用しない
7　シートノック	全試合5分間	5分間。大会3日目までシートノックなし	5分間。大会初日はシートノックなし
8　球場規格	センター90m・両翼80m	センター85m・両翼75m	センター85m・両翼75m

＜規則改正事項＞

【平成22年度から新たに適用された規則】
・ランナーコーチのヘルメット着用義務
※野球用ヘルメット(J.S.B.B・SG マーク付き)であればイヤーフラップの制限はない

【平成26年度から新たに適用された規則】
・使用バットは、J.S.B.Bマーク付き公認のものであれば制限はない
・木製バットは公認制度を適用しない

【平成28年度から新たに適用された規則】
・規定回数（全県500・550歳大会は5回、全国500歳大会は7回）を過ぎて同点の場合は、「タイ・ブレーク　方式（一死満塁、選択打順）」を採用する
※全県500歳大会は大会3日目以降、550歳大会は大会2日目以降、全国500歳大会は、全ての試合で採用する

【平成29年度から新たに適用された規則】
・スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。

【平成30年度から新たに適用された規則】
・守備側のチーム監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

［確認事項：没収試合の防止に向けて］
1　試合前のメンバー表交換時点で大会本部の登録原簿（大会プログラム）照合により誤記等に気付いた場合
（対応1）出場選手、控え選手を問わず、氏名、背番号の誤記を発見した場合、注意を与えて書き直しとし、罰則等は適用しない。登録原簿以外の選手が記載されている場合も同様とする。また、守備位置のダブり記載や同姓で二人を区別する頭文字あるいは名前を付けないで記載したような場合も同様とする。
（対応2）大会プログラムへの登録背番号と実際に着用しているユニホームの背番号が違う場合は、メンバー交換の際に申し出て、相手チームの代表者が了承した場合は出場を可とする。

2　試合中に誤記等が判明した場合
（対応1）登録選手間の背番号のつけ間違いは、判明した時点で正しく改めさせ罰則は適用しない。
（対応2）登録外選手または背番号が違う選手が出場した場合は、その選手の出場を差し止め、ベンチから退去させたうえで、チーム自体の没収試合とはしない。
（対応3）ゲーム出場選手の合計年齢が500歳以上(550歳野球大会は550歳以上）を満たしていない場合や金属製金具の付いたスパイクの着用が判明した場合は没収試合の対象とする場合もある。

◎J.S.B.B（全日本軟式野球連盟公認）
◎SG（製品安全協会認可・対人賠償責任保険付与）